



ピンチをチャンスに！！ ~新たな善き姿を生み出した「志津南リレー大会」~

「志津南リレー大会」は、今年度初めて行えた貴重な学校行事で、学級や学年、そして学校中が一つの目標に向け「力をあわせチャレンジ」できた学習でもあります。また、本番に至るまでの取組も含め、これまでの運動会では見ることができなかった「子どもがつながる子どもたちで盛り上げる 子どもたちで創り上げる」という善き姿が随所に、また自然発生的に生まれた学習でした。今回はその一端を紹介します。

①応援パネルで盛り上げよう！

運動会に代わるリレー大会を盛り上げ、子どもたちの心をつなげる取組の一つが「応援パネル」です。つながりを意識できるよう各クラスで作成し、職員室前に掲示しました。応援パネルを見る子どもたちの目がとても輝いており、やる気モードがさらにアップしました。そして当日は運動場のトラックに全クラスの応援パネルを並べました。



②正門で応援リーダーが活躍！

リレー大会の朝の正門では、6年生の応援リーダーが、はちまきを締めメガフォンを片手に力強い掛け声を。またその横では応援旗を振り、リレー大会に向け子どもたちの気持ちさらに高めていました。



③2年生がベランダから熱い声援を

リレー大会は学年で実施するため他学年を応援できないことがとても残念でしたが、なんと2年生がベランダから熱い声援を送ってくれたのです。子どもから声が上がリ「がんばれ〇年生」というパネルまで作成して。嬉しいことはさらに続き、4年3組の子も2年3組へお礼を言いに行っただけです。これも子どもから声が上がったのです。



④開閉会式で子どもが大活躍！

これまでの運動会では高学年が中心となり開閉会式や応援をリードしてくれましたが、今年はずべての学年で子どもが司会をし、はじめの挨拶や各色の代表児がスローガンや意気込みを発表していました。驚いたことは下学年(1・2・3年)の子どもたちの堂々とした姿とはきはきとした話しぶりでした。子どもたちはおそらく、リレー大会を自分たちで盛り上げ創り上げるんだという思いをもって大会に臨んでくれたのではないかと思います。







